



ういぼう

2016.2発行

当院は、2015年4月1日より医療法人社団昂会による指定管理により、県内唯一の公設民営病院として、新たな歩みを始めました。医師をはじめ地域の皆様のご尽力に感謝するとともに、院長としてこの責務の重要性を痛感しております。

JR能登川駅周辺という立地条件を生かし、高齢者医療、一般内科、一般外科(消化管、肝胆膵)、小児科、眼科(白内障・硝子体手術等)、スポーツ整形、形成外科(熱傷対応や美容等)、健診や予防医療も行います。加えて消化器、特に肝疾患、眼科、形成は東近江だけでなく滋賀県全域、あるいはそれ以上の地域をターゲットに患者を受け入れたいと考えています。救急医療にも対応し、昂会関連病院の特徴を生かした急性期医療を行うことが重要、すなわち、湖東記念病院、日野記念病院とITシステムを活用した医療連携をさらに充実させ、急性期疾患に対応できることを目指していきたく思います。

常勤医が9名とまだまだ少ないですが、近江八幡、東近江両総合医療センター、各大学病院(滋賀医大、京都府立医大、京大病院など)とも連携し、今後の日本に必要とされる在宅医療についても、近隣の診療所の先生方と協力し、積極的に支援できる連携を行い、在宅あるいは在院看取りが可能な体制を遂行できるよう職員一同努力してまいります。また、“生、老、病、死”を安心安全に対応できる東近江医療圏での一般急性期病院にしていきたく思います。

今後とも皆様方からの、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

院長 竹内 孝幸



せんが



常勤外科医が赴任しました

この11月より着任いたしました外科の内藤弘之と申します。医療制度改革で医師の都会志向、有名病院志向のあおりで能登川病院では外科医不在になり、外科手術が行われなくなり数年が経過し、病院としての機能は満足いくものではありませんでした。私が滋賀医科大学での研修の後、最初に出向したのが能登川病院で、その頃は外科医も3人いて手術も多く、大変貴重な経験もさせていただきました。その後、大学病院勤務、大学院卒業ののち大学病院に12年勤務、日野記念病院では8年7か月の勤務をいたしました。本年4月より能登川病院は指定管理制度で医療法人社団昂会が運営することとなり、日野記念病院に勤務しながら、水曜日に1日だけ外来をすることになりました。やがて次第に最初にお世話になった能登川病院の外科が元気にならないものか、手術を再開できないものかと思い始めました。そして、時期を同じくして、滋賀医科大学、医療法人社団昂会から能登川病院外科の立て直しを依頼され快諾させて頂きました。長い道のりではありますが、外科手術を少しずつ再開し、少しでも地域医療に貢献できるよう頑張る所存であります。ご協力よろしくお願い致します。

副院長 内藤 弘之



今年1月より内科常勤医 島本 真里 医師が新しく着任し、昨年11月の2階病棟再開と合わせ、より多くの患者様の受け入れが可能になりました。

東近江市立 能登川病院(指定管理者 医療法人社団昂会)
地域医療連携室

来年度4月から形成外科が常勤になる予定です。またよろしくお願い致します。